

## 低温（夏期）についての技術対策

### 露地果樹

#### 【事前対策】

内容	チェック欄	備考
(ナシ) 適正着果量を遵守する。		
(ナシ) 排水対策を徹底する。		
(ブドウ) 土壌水分の急激な変化を防ぐために、タイベックやビニルシートを敷いて裂果防止に努める。		
(ブドウ) 裂果しやすい品種の導入は控える。導入する場合は雨よけ施設やかん水施設の設置を考える。		
(ブドウ) 着色不良となる要因をなくす、粒数の制限、房数の制限及び夏季剪定を徹底する。		
(ミカン) 溝掘り、中耕により土壌を乾燥させる。また、タイベック被覆や断根により水分抑制を図る。但し樹勢が良好な時に限る。樹勢低下樹に実施するとさらに樹勢低下を招くので注意が必要。		
(キウイフルーツ) 日頃から排水対策を実施しておく。		

#### 【事後対策】

内容	チェック欄	備考
(ナシ) 肥大の悪い果実を早急に摘果して樹の負担を軽くする。残った果実の肥大を促す。		
(ナシ) 豊水では、7月が低温で推移するとみつ症が多発することがあるので、収穫期には果実を切って発生状況を確認する。被害が見られたら収穫時期をやや早めるとよい。目安はカラーチャートで地色 3 前後（例年は 3.5～4.5）である。		

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。

## 低温（夏期）についての技術対策

<p>但し、収穫を急ぎすぎると酸味が強く、食味が低下するので注意する。</p>		
<p>（ナシ） 幸水の裂果については、一般的に梅雨期後半に曇雨天が続き、急に晴天になった翌日に裂果が多くなる。排水不良により根の活性が落ちていること及び着果過多が原因であるので、排水対策、適正着果等に心がける。</p>		
<p>（ナシ） 排水不良及び日照不足により早期落葉が発生する。樹体の活力が低下しているので、排水対策を徹底する。</p>		
<p>（ブドウ） 裂果した粒は速やかに取り除き、腐敗等を広げないように心がける。</p>		
<p>（ブドウ） 着色不良になりやすいので、緊急処置として着房部の摘葉、袋除去＋傘掛けを行う。</p>		
<p>（ミカン） 熟期遅延、浮き皮が心配されるため、摘果剤、浮き皮防止剤を散布し、結果枝上のかぶさり枝の間引き等を徹底する。</p>		
<p>（キウイフルーツ） 排水が悪く湛水状態が発生すると落葉、落果が発生する。湛水状態になった場合、早期に明渠等を掘り排水を促し土壤乾燥を図る。</p>		

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。